

2015年8月5日

株式会社クレディセゾン(8253) 2015年度4-6月期決算発表

クレジットサービス事業・ファイナンス事業が堅調に拡大
営業利益 149 億円(前期比 27.1%増)・純利益 125 億円(同 18.0%増)

『クレジットサービス事業』では、提携先企業と共同での会員募集を中心に顧客基盤の強化に取組み、新規カード会員数は 64 万人増加しました。また、新規カード会員の早期利用促進や既存カード会員の利用拡大に向けたカード利用活性キャンペーンに取組み、稼働会員数は前期末より 13 万人増加した結果、ショッピング取扱高は前期比 6.9%増加、リボルビング残高は前期末より 4.1%増加しました。また、企業における各種決済のキャッシュレス化の実現に向け、ビジネス形態や決済ニーズに応じた各種法人向けカードの獲得と利用促進を強力に推進し、法人カードの取扱高は前期比 10%増加しました。

『ファイナンス事業』では、信用保証事業において、フリーローン保証商品の強化を通じて地域金融機関とのきめ細やかな連携に努め、保証残高は前期末より 2.5%増加しました。また、「フラット 35」および「セゾンの資産形成ローン」は、いずれも有力な提携先との連携により、フラット 35 の貸出残高（住宅金融支援機構への債権譲渡済み残高）は前期末より 5.0%増加、資産形成ローン貸出残高は前期末より 15.2%増加し、ファイナンス事業全体での債権残高は堅調に拡大しました。

ネットビジネスでは、基盤となるネット会員を増強するとともに、6 月には、「金融×IT(Fintech)」の分野を中心としたベンチャー企業への投資や協業を目的に、コーポレート・ベンチャーキャピタル「(株)セゾン・ベンチャーズ」を設立しました。

海外事業では、ベトナムの銀行 Ho Chi Minh Development Joint Stock Bank と資本業務提携し、ベトナムで No. 1 の総合リテールファイナンス会社を目指して、5 月に合弁会社「HD SAISON Finance Company Ltd.」として事業を開始しました。

今後の持続的成長に向けた顧客基盤の強化をする一方で債権の健全化にも注力した結果、営業収益 688 億円(前期比 9.6%増)、営業利益 149 億円(同 27.1%増)、経常利益 177 億円(同 25.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は 125 億円(同 18.0%増)となりました。

当連結会計年度のセグメント別業績概況は次の通りです。

1. 営業概況

(1) クレジットサービス事業

新規カード 64 万枚獲得、稼働会員は 13 万人増加し顧客基盤を拡大。営業収益 500 億円(前期比 5.3%増)、営業利益 54 億円(同 13.6%増)

- ① 「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」や「PARCO カード」、「三井ショッピングパークカード《セゾン》」など提携小売業店舗と一体となった会員募集を推進し、新規カード会員数は 64 万人（前期比 6.7%増）、カードの年間稼働会員数は 1,471 万人（前期末比 0.9%増）となりました
- ② ショッピングセンターやスーパーなど提携先企業と共同でのカード利用活性キャンペーンや税金のカード払い促進によるキャッシュレス化の推進に加え、リボルビング払い、ボーナス一括払いなど多様なお支払い方法の訴求により、ショッピング取扱高は 1 兆 433 億円（前期比 6.9%増）、リボルビング残高は 3,068 億円（前期末比 4.1%増）となりました。
- ③ 6 月より、国際ブランドプリペイドカード「NEO MONEY」のサービス内容を拡充、日本初の中国銀聯ブランドの発行も開始しました。
- ④ ネットビジネスの基盤となるネット会員の拡大に努め、ネット会員数は 1,150 万人（前期末比 2.7%増）となりました。

(2)リース事業

主力提携販売店との信頼関係強化や新規販売店への営業強化に取り組み、取扱高 258 億円 (前期比 5.6%減)、営業収益 34 億円 (同 2.4%減)。

競争の厳しいマーケットにおいて、主力提携販売店を中心に販売店の特性に応じた共同キャンペーンの実施や取扱商材の拡充による営業を強化するとともに、債権健全化による貸倒関連費用の抑制に努めたものの、営業利益は 13 億円 (前期比 24%減) となりました。

(3)ファイナンス事業

事業基盤の拡大に向けて提携先との連携強化を図るとともに、資金ニーズに対応した商品の多様化を進めた結果、営業収益 60 億円 (前期比 16.7%増)、営業利益 32 億円 (同 14.7%増)。

- ① 信用保証事業は、資金使途を事業性資金にも広げたフリーローン保証商品を通じて、地域金融機関等とのきめ細やかな連携に努め、保証残高は 2,684 億円 (前期末比 2.5%増) となりました。
- ② 長期固定金利住宅ローン「フラット 35」は、取次ぎ店等との営業強化により、住宅金融支援機構への債権譲渡済み残高は 2,980 億円 (前期末比 5.0%増) となりました。
- ③ 「セゾンの資産形成ローン」は、有力な提携先との連携強化により、実行金額 108 億円 (前期比 29.5%増)、貸出残高 780 億円 (前期末比 15.2%増) と堅調に拡大しました。

(4)不動産関連事業

積極的な営業展開により、営業収益 68 億円 (前期比 68.2%増)、営業利益 44 億円 (同 134.1%増)。

連結子会社 (株) アトリウムにおいては、積極的な営業展開に留まらず、保有する不動産の価値を高めるための企画・開発にも取り組みました。また、整理事業における大型案件の売却や開発案件が確実に進捗しております。

2. 経常利益・純利益概況

今後の持続的成長に向けた顧客基盤の強化をする一方で債権の健全化にも注力した結果、営業収益 688 億円 (前期比 9.6%増)、営業利益 149 億円 (同 27.1%増)、経常利益 177 億円 (同 25.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は 125 億円 (同 18.0%増) となりました。

なお、2015 年度通期の業績予想につきましては、5 月 13 日に公表しましたとおり、営業収益 2,680 億円、経常利益 545 億円、当期純利益 350 億円と変更はございません。

以上

(ご参考) 2015 年度 4-6 月期 単体業績

(1) 新規カード開拓枚数	:	82 万枚	(前期比 4.8%増)
(2) 新規カード発行枚数	:	64 万枚	(前期比 6.7%増)
(3) カード総会員数	:	2,510 万人	(前期末からの純増数 13 万人)
(4) 稼働会員数	:	1,471 万人	(前期末からの純増数 13 万人)
(5) 稼働率	:	58.6%	(前期末から 0.2%増)
(6) カードショッピング取扱高	:	1 兆 433 億円	(前期比 6.9%増)
(7) カードショッピングリボ残高	:	3,068 億円	(前期末比 4.1%増)
(8) カードキャッシング取扱高	:	698 億円	(前期比 1.3%減)
(9) カードキャッシング残高	:	2,195 億円	(前期末比 0.5%増)
(10) 営業収益	:	553 億円	(前期比 6.0%増)
(11) 経常利益	:	114 億円	(前期比 1.4%減)
(12) 当期純利益	:	75 億円	(前期比 4.0%減)